

[様式G1]

令和5年度 環境目標・環境活動計画管理票(省エネ・省資源用)

1 所属、責任者、担当者									
所属名	諏訪湖流域下水道事務所								
責任者(所属長)	所長 山崎 直人								
担当者	管理課 日出嶋								
連絡先	0266-58-2955								
2 目標及び達成状況									
電気使用量の削減	率先実行計画の目標	電気使用量を令和12年度までに平成22年度(基準年度)比65%以上削減する。							
	今年度の目標	令和	4	年度比	1	%削減	削減後の使用量 (削減分ではありません)	17,933,121	kWh
	目標の設定理由 (目標設定ができない理由)	<ul style="list-style-type: none"> ・電気使用量は処理場全体で管理しており、庁舎(全体の約3.5%)での環境活動としての職員の取組では率先実行計画のH22(20,800千kWh)比でR12年度までに65%削減(7,280千kWh)することは困難。 ・そのため、省エネ法の努力目標を準用し、処理場の全体で前年度比1%削減を目標とする。(努力目標とは、重油換算エネルギー原単位の年平均1%以上低減(H18年経済産業省告示65号)) ・算定式: R4実績(処理場+場外施設) - R4処理場実績 × 0.01 = 18,110,409kWh - 17,728,847kWh × 0.01 = 17,933,121kWh (場外施設は削減の余地がなく、削減対象から除外) 							
	目標達成のための手段	省エネ機器の導入、省エネ運転の検討 等							
	上半期の実績	実績使用量 (削減分ではありません)						8,985,876	kWh
	今年度の実績	令和	4	年度比	0.9	%削減	実績使用量 (削減分ではありません)	17,949,378	kWh
	達成状況の評価	達成状況の評価	B			目標に対する達成状況	100	%	
燃料使用量の①の削減	率先実行計画の目標	庁舎・設備で使用する燃料使用量を令和12年度までに平成22年度(基準年度)比70%以上削減する。							
	燃料の項目	A重油							
	今年度の目標	令和	4	年度比	0	%削減	削減後の使用量 (削減分ではありません)	173,727	L
	目標の設定理由 (目標設定ができない理由)	<ul style="list-style-type: none"> ・H22(369,135L)比で70%削減(110,740.5L)は焼却炉でのA重油の利用が必須であるため困難。 ・消化ガス発電事業へ消化ガスを安定的に供給する必要があり、昨年度に比べ焼却炉の重油稼働を増加させるため、目標設定ができない。 							
	目標達成のための手段	省エネ機器の導入、省エネ運転の検討 等							
	上半期の実績	実績使用量 (削減分ではありません)						103,457	L
	今年度の実績	令和	4	年度比	-51.8	%削減	実績使用量 (削減分ではありません)	263,658	L
達成状況の評価	達成状況の評価	C			目標に対する達成状況	66	%		
燃料使用量の②の削減	率先実行計画の目標	庁舎・設備で使用する燃料使用量を令和12年度までに平成22年度(基準年度)比70%以上削減する。							
	燃料の項目	LPガス							
	今年度の目標	令和	4	年度比	1	%削減	削減後の使用量 (削減分ではありません)	284	m3
	目標の設定理由 (目標設定ができない理由)	<ul style="list-style-type: none"> ・LPガス使用量のほとんどが下水処理工程上必要なもの(加温ボイラーの着火用等)であり、率先実行計画のH22(648m³)比でR12年度までに70%削減(194m³)することは困難。 ・そのため、省エネ法の努力目標を準用し、処理場の全体で前年度比1%削減を目標として管理を行う。 ・算定式: R4実績 × 0.99 = 287m³ × 0.99 = 284m³ 							
	目標達成のための手段	省エネ機器の導入、省エネ運転の検討 等							
	上半期の実績	実績使用量 (削減分ではありません)						155	m3
	今年度の実績	令和	4	年度比	5.2	%削減	実績使用量 (削減分ではありません)	272	m3
達成状況の評価	達成状況の評価	A			目標に対する達成状況	104	%		

〔様式G1〕

令和5年度 環境目標・環境活動計画管理票(省エネ・省資源用)

1 所属、責任者、担当者									
所属名	諏訪湖流域下水道事務所								
責任者(所属長)	所長 山崎 直人								
担当者	管理課 日出嶋								
連絡先	0266-58-2955								
2 目標及び達成状況									
公用車の省エネ(ガソリン)	率先実行計画の目標	公用車の燃料消費量を令和12年度までに平成22年度(基準年度)比40%以上削減する。							
	今年度の目標	令和	4	年度比	2	%削減	削減後の使用量 (削減分ではありません)	691.0	L
	目標の設定理由 (目標設定ができない理由)	<ul style="list-style-type: none"> ・流域下水道の維持管理業務の組織改正により、H24に下水道公社委託から県直営化となった。 ・H22段階では組織が異なり使用量も不明であるため、現在の組織となったH24を比較対象年度とした。 ・率先実行計画に準じた場合、H24(937L)比で40%削減(562L)が目標となる。 ・目標達成に向けて前年度比2%の削減を目標とする。 ・算定式: R4実績×(1-0.02)=705L×0.98=691L 							
	目標達成のための手段	・エコドライブの推進、相乗り出張、近距離の公用自転車の利用、公共交通機関の積極利用 等							
	上半期の実績	実績使用量 (削減分ではありません)						253.22	L
	今年度の実績	令和	4	年度比	8.9	%削減	実績使用量 (削減分ではありません)	770.12	L
	達成状況の評価	達成状況の評価		B			目標に対する達成状況		90
公用車の省エネ(軽油)	率先実行計画の目標	公用車の燃料消費量を令和12年度までに平成22年度(基準年度)比40%以上削減する。							
	今年度の目標	令和		年度比		%削減	削減後の使用量 (削減分ではありません)		L
	目標の設定理由 (目標設定ができない理由)	(対象設備なし)							
	目標達成のための手段								
	上半期の実績	実績使用量 (削減分ではありません)							L
	今年度の実績	令和		年度比		%削減	実績使用量 (削減分ではありません)		L
	達成状況の評価	達成状況の評価					目標に対する達成状況		
水道使用量の削減	中長期の目標	上水道の使用量を令和12年度までに平成22年度(基準年度)比10%以上削減する。							
	今年度の目標	令和	4	年度比	0.25	%削減	削減後の使用量 (削減分ではありません)	4,657	m3
	目標の設定理由 (目標設定ができない理由)	<ul style="list-style-type: none"> ・H24に県直営化となり、前述同様、H24を比較対象年度とした。 ・率先実行計画に準じた場合、H24(6,643m³)比で10%削減(5,979m³)となるが、使用量の約半分が場内の処理工程で使用されていることを考慮し、H24比で5%(10/2%)の削減(6,311m³)を目標とする。 ・近年は概ね目標を達成しているが、更なる取組を行う。率先実行計画ではH23~R12の20年で5%削減のため、1年当たり換算で前年度比0.25%の削減を目標とする。 ・算定式: R4実績×(1-0.0025)=4,669m³×0.9975=4,657m³ 							
	目標達成のための手段	節水コマや節水器等の導入、管理本館屋上冷却塔や管理本館冷温水発生装置の運用見直し 他							
	上半期の実績	実績使用量 (削減分ではありません)						2,107	m3
	今年度の実績	令和	4	年度比	8.0	%削減	実績使用量 (削減分ではありません)	4,296	m3
	達成状況の評価	達成状況の評価		A			目標に対する達成状況		108

〔様式G1〕

令和5年度 環境目標・環境活動計画管理票(省エネ・省資源用)

1 所属、責任者、担当者									
所属名	諏訪湖流域下水道事務所								
責任者(所属長)	所長 山崎 直人								
担当者	管理課 日出嶋								
連絡先	0266-58-2955								
2 目標及び達成状況									
用紙類の削減	率先実行計画の目標	コピー用紙等の使用枚数を令和12年度までに平成22年度(基準年度)比10%以上削減とする。							
	今年度の目標	令和	4	年度比	0.5	%削減	削減後の使用量 (削減分ではありません)	183.1	千枚
	目標の設定理由 (目標設定ができない理由)	<ul style="list-style-type: none"> ・H24に県直営化となり、前述同様、H24を比較対象年度とした。 ・率先実行計画に準じた場合、H24比(224千枚)で10%削減(201.6千枚)が目標となる。 ・近年は概ね目標を達成しているが、引き続き取組を進める。率先実行計画ではH23～R12の20年度で10%削減のため、1年当たり換算で前年度比0.5%の削減を目標とする。 ・算定式: R4実績×(1-0.005)=184千枚×0.995=183.1千枚 							
	目標達成のための手段	両面コピー(印刷)の徹底、裏紙の活用、電子化の活用 等							
	上半期の実績	実績使用量 (削減分ではありません)						75.0	千枚
	今年度の実績	令和	4	年度比	44.0	%削減	実績使用量 (削減分ではありません)	103.0	千枚
	達成状況の評価	達成状況の評価	A				目標に対する達成状況	178	%
廃棄物の減量・リサイクル	率先実行計画の目標	可燃ごみの排出量を令和12年度までに平成22年度(基準年度)比20%以上削減する。							
	今年度の目標	令和	4	年度比	1	%削減	削減後の排出量 (削減分ではありません)	1,818	kg
	目標の設定理由 (目標設定ができない理由)	<ul style="list-style-type: none"> ・H24に県直営化となり、前述同様、H24を比較対象年度とした。 ・率先実行計画に準じた場合、H24比(7,410kg)で20%削減(5,928kg)が目標となる。 ・廃棄物の発生抑制の取組に努めた結果、近年安定して達成しているが、更なる削減を目指す。率先実行計画ではH23～R12の20年で20%のため、1年当たり換算で前年度比1%の削減を目標とする。 ・算定式: R4実績×(1-0.01)=1,836kg×0.99=1,818kg 							
	目標達成のための手段	可燃ゴミからのリサイクル可能な資源ゴミの分別徹底 等							
	上半期の実績	実績排出量 (削減分ではありません)						1,269	kg
	今年度の実績	令和	4	年度比	-41.2	%削減	実績排出量 (削減分ではありません)	2,592	kg
	達成状況の評価	達成状況の評価	C				目標に対する達成状況	70	%